

アクションゴーマック v.2.0J  
ユーザーズガイド





# 目次

第1章	ACTION GoMacの紹介 .....	1
	ACTION GoMac の特徴 .....	1
	テクニカルサポートについて .....	2
第2章	インストール .....	3
	インストールに必要なシステム .....	3
	インストールの方法 .....	3
	ACTION GoMac のアンインストール .....	5
第3章	ACTION GoMac の使い方 .....	7
	ACTION GoMac のタスクバー .....	7
	スタートメニュー .....	7
	スタートメニュー内のメニューについて .....	8
	スタートメニューのショートカット .....	11
	クイックランチ .....	11
	クイックランチのメニュー .....	12
	「開く」 .....	12
	「情報を見る」 .....	13
	「削除」 .....	13
	タスクバーのタスクセグメント .....	13
	時計トレイとコントロールバー項目 .....	15
	時計と万年カレンダー .....	15
	コントロールストリップモジュールについて .....	16
	キーボード切替 .....	17
	ショートカット .....	18
	タスクバー .....	18
	キーボード切替 .....	18

第 4 章	ACTION GoMac の設定 .....	19
	ACTION Utilities コントロールパネル .....	19
	ACTION GoMac 設定パネル .....	19
	「製品情報」パネル .....	19
	ACTION GoMac の起動・終了 .....	20
	デモバージョンの登録 .....	20
	「タスクバー」パネル .....	21
	自動的に隠す .....	21
	「スタートメニュー」パネル .....	23
	タスクバーとコントロールバーの設定 .....	24
第 5 章	トラブルシューティング .....	25
	テクニカルサポートについて .....	25
	サポート窓口 .....	25
	株式会社アクト・ツー サポートセンター .....	25
	トラブルシューティング .....	26

## 第1章 ACTION GoMacの紹介

---

### ACTION GoMac の特徴

ACTION GoMac へようこそ！これはあなたのMacOS の操作環境をより素晴らしいものにしてくれるタスクバーとスタートメニューのプログラムです。ACTION GoMac はコントロールバー設定、MacOS 8.5 よりもさらに機能的なキーボード切替、その他様々な機能を取りそろえており、ご使用中の Mac の環境をより便利にしてくれることをお約束いたします。



(図1 ACTION GoMac のタスクバー)

ACTION GoMac の主な機能としては次のような物があげられます。

スタートメニューはアプリケーション、ドライブ、書類、インターネットソフトウェア、そしてMacの設定に瞬時にアクセスできる機能を備えています。

タスクバーには使用中のアプリケーションが全て表示され、ドラッグ&ドロップで書類を開くことも可能です。

クイックランチ機能を使えば、マウスを一度クリックするだけでタスクバーよりアプリケーションを立ち上げることができます。

タスクバーのポップアップウィンドウからは、ウィンドウやレイヤーの管理ができます。これにより、アプリケーションウィンドウがMac上でどのように表示されるかを簡単に指定することができます。

時計トレイでは万年カレンダーやコントロールバーの設定も可能です。

キーボード切替機能を使用すると、キーを押すだけでアプリケーションの切替が行えます。

なお、ACTION GoMac は誰もが直感的、かつ簡単に使えるようにデザインされており、機能のほとんどはボタンやメニューを選択するだけで使えるようになっています。ACTION GoMac のドラッグ&ドロップ機能は Windows ユーザーをうらやましがらせること間違いなしです。ACTION GoMac の優れた機能を活かすために、プログラムバーをいろいろと操作してみてください。操作をしていく中で、いろいろな機能が発見できるはずです。

---

## テクニカルサポートについて

株式会社アクト・ツーでは、ユーザーのみなさまに誠意を込めたサポートを心掛けております。弊社ユーザーサポートへご連絡くださる前に、本ユーザーズガイドを必ずお読みください。また、「初めにお読みください」ファイルには、最新の情報を記載してありますので、そちらも必ずお読みください。

## 第2章 インストール

---

### インストールに必要なシステム

ACTION GoMac 2.0Jをご利用になるには、以下のシステムが必要です：

Macintosh コンピュータ（ただしMacintosh Plus、Macintosh SE、PowerBook 100 シリーズを除く）

MacOS7.6.1以降、MacOS 8.5.1対応

---

注） お使いになられているシステムのバージョンは、アップルメニューの「このコンピュータについて」で確認することができます。

---

このマニュアルはお客様がMacintosh の使い方を理解し、クリック、ドラッグ、アプリケーションの起動、書類を開く、などの操作を習得されていることを前提に記述されています。もし、これらの項目を把握されていない場合には、Macintosh 本体に同梱されております「Macintosh ユーザーズガイド」を参照して基本的な操作法を身につけてください。

---

### インストールの方法

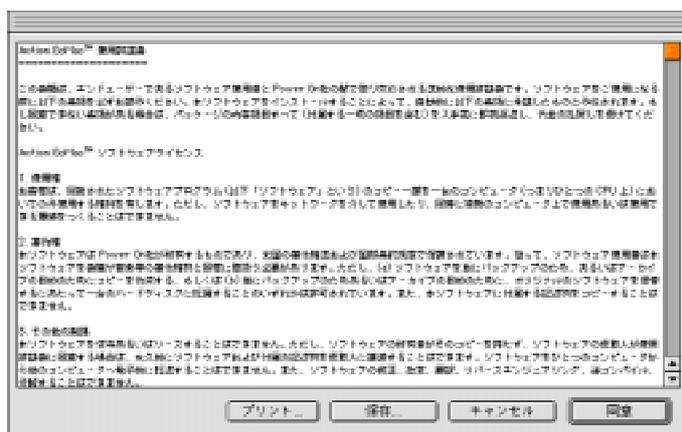
インストールされる前に、ACTION GoMac のCD-ROM 内にある「初めにお読みください」ファイルを必ずお読みください。

1. Macintoshを再起動します。その際、シフトキーを押しながら再起動を行い、必要最低限の機能拡張のみをロードしてください。
2. CD-ROM ドライブに ACTION GoMac の CD-ROM を挿入します。
3. 「ACTION GoMac インストーラ」のアイコンをダブルクリックして、インストーラを起動させます。



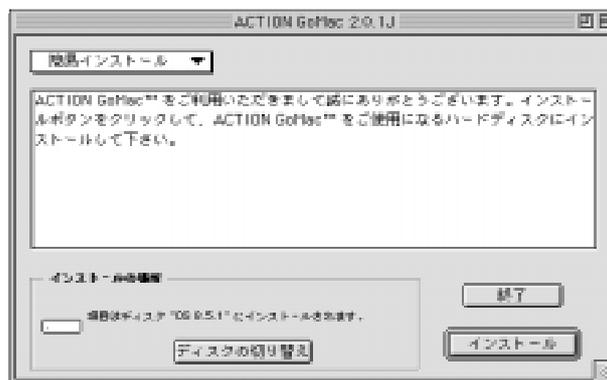
（図2）ACTION GoMac をインストールするためにはこのアイコンをダブルクリックします

4. インストーラが起動すると、図3のようなダイアログが表示されます。著作権とソフトウェアライセンスに関する情報が記載されていますのでよくお読みください。記載事項に同意できない場合は「同意しない」ボタンを押し、同意する場合は、「同意」ボタンを押しします。



(図3) 著作権とソフトウェアライセンスに関する情報

5. 「同意」ボタンをクリックすると、図4のようなダイアログが表示されます。ダイアログ上部にあるポップアップメニューからインストール方法を選択することができます。また、ACTION GoMacのアンインストールもこのメニューから行うことができます。「簡易インストール」を選択した場合、図4のようなダイアログが表示されます。インストールを開始する前に、ハードディスクに十分な空き容量があるかどうかを確認してください。



(図4) 「簡易インストール」を選択した場合の画面

6. インストール先のハードディスクを指定するには「ディスク切替」ボタンをクリックしてください。図 4 では、インストール先に「OS\_8.5.1」というボリュームが選択されています。選択したディスクにインストールができない場合、インストールボタンは薄いグレーで表示されます。
7. インストールを開始するには、「インストール」ボタンをクリックしてください。
8. ソフトウェアのインストールが完了すると、シリアルナンバーを入力する画面が表示されます。正しいシリアルナンバーを入力すると、「OK」ボタンを選択することができるようになります。試用版を使う場合には「デモ」ボタンを押してください。

パッケージ版をご購入のお客様は、シリアルナンバーが登録カードに記載されておりますので、そちらをご入力ください。

9. インストールが終了すると、他のディスクにソフトウェアをインストールするか、または、コンピュータを再起動するかを聞いてきます。インストールを続ける場合には「続ける」ボタンを押してください。終了する場合には、「再起動」ボタンを押して、コンピュータを再起動させてください。



(図5) 登録ダイアログ

---

## ACTION GoMac のアンインストール

ACTION GoMac をハードディスク上から削除する場合には、インストーラを起動させてください。メイン画面で、ポップアップメニューから「アンインストール」を選択すると図 8 のようなダイアログが表示されます。

削除する ACTION GoMac がインストールされているドライブを「ディスク切替」から選択し、「アンインストール」ボタンを押すと、システム内にインストールされている全てのコンポーネントファイルが削除されます。



( 図8 ) ACTION GoMac アンインストール

## 第3章 ACTION GoMac の使い方

---

### ACTION GoMac のタスクバー

ACTION GoMac をインストールして、最初に目に付くのはモニター下部に現れるタスクバーでしょう。ACTION GoMac の殆どの機能はタスクバーから行うことができます。



(図9) ACTION GoMac のタスクバー

タスクバーは4つのセクションに分けることができます。左端にあるのがスタートメニューです。スタートメニューからはプログラムや書類を開いたり、またマウントされているボリュームの内容を確認したり、システム設定をカスタマイズすることができるようになります。その横にあるのがクイックランチャーです。ランチャーからは登録したアプリケーション、フォルダ、書類、コントロールパネルなどに素速くアクセスできます。ランチャーの右にはタスクセグメントがあります。こちらには起動しているアプリケーションが全てボタン形式で表示されます。そして、右端にあるのが時計トレイです。トレイ内には時計、アプリケーション、そしてコントロールバーモジュールが含まれています。それぞれのセクションについてこれから詳しく説明します。

---

### スタートメニュー

スタートメニューは、Windows を使ったことのある方には非常に馴染みがある機能でしょう。システムの設定、プログラムや文書、ディスクドライブなどは全てこのスタートメニューからアクセスすることができます。

ACTION GoMac のスタートメニューはドラッグ&ドロップに対応しています。

スタートメニューにファイルをドラッグ（ドロップする必要はありません）すると、そのファイルを開けるアプリケーションだけが表示されず、使用するプログラムを選択すると、自動的にそのプログラムを立ち上げファイルを開きます。

スタートメニューにアプリケーションを加えたいときには、アプリケーションかそのエイリアスをスタートメニューにドラッグしてください。なお、変更には数秒ほどかかる場合がございます。

スタートメニューの設定はアップルメニューの設定と同様に行うことができます。システムフォルダ内の「スタートメニュー項目」フォルダに登録したファイルやフォルダは、全てスタートメニューに表示されます。

「スタートメニュー項目」フォルダは、「アップルメニュー項目」と同じような働きをします。「スタートメニュー項目」へ登録するには、登録したいファイルをスタートボタンにドラッグしてください。起動時、GoMac は起動ドライブのルートレベルにあるアプリケーションや書類フォルダを探します。検出されたアプリケーションや書類フォルダは、スタートメニューの「プログラム」「書類」に自動的に記録されます。また「ドライブ」にはご使用になられているMacintosh 上で利用可能な全てのボリュームを表示します。

---

注： Mac OS 8.5 でFinder の上にドラッグされたURL は、ブックマークファイルとして保存されます。これらのブックマークをスタートメニュー内に保存しておくことも可能です。

---

## スタートメニュー内のメニューについて

ACTION GoMac のスタートボタンを押すと開くメニューの項目についてご説明します。なお、これらの項目・メニューはコントロールパネルから無効にすることもできます。

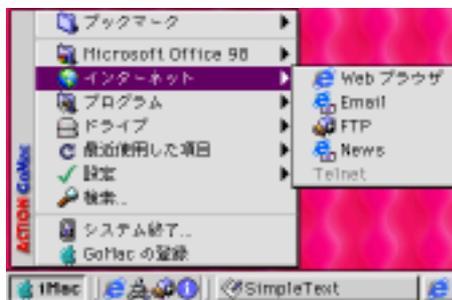
ご使用中のMac に Microsoft Office 98 がインストールされている場合は、ACTION GoMac のスタートメニューに「Microsoft Office 98」というメニューがつけます。ここからは、Word, Excel, PowerPoint にアクセスできます。



(図10) Microsoft Office 98 サブメニュー

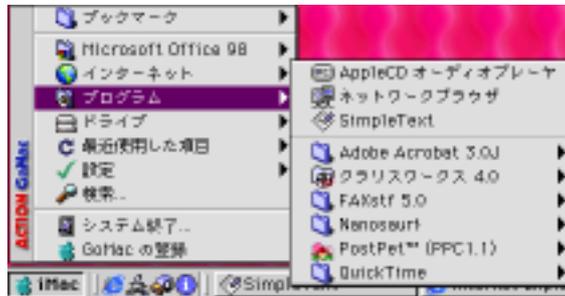
注： Microsoft Office の他のプログラムをメニューに加えたいときは、そのエイリアスをOffice 98 フォルダに入れてください。

「インターネット」メニューは ACTION GoMac 2.0J の新機能です。このメニューには様々なインターネットサービスへのショートカットが含まれています。項目を選択すると、ACTION GoMac はInternet Config または「インターネット」コントロールパネルを使用してそのアプリケーションを起動させようとしています。この機能はインターネットに接続していないマシンでは使うことができません。



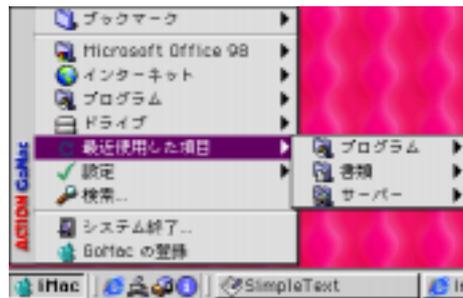
(図11) インターネットサブメニュー

「プログラムメニュー」と「書類」メニューには、お手持ちのハードドライブ内のアプリケーションやファイルのリストを表示します。ここに表示されるアプリケーションやファイルは、ACTION GoMac の起動時に起動ディスクのルートレベルに位置していた「アプリケーション」フォルダと「書類」フォルダを表示します。また、「ドライブ」メニューには、ローカルとネットワーク上でマウントされたドライブのリストが表示されます。



(図12) プログラムサブメニュー

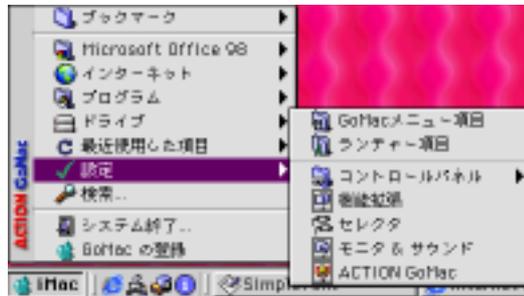
「最近使用した項目」メニューは3つのセクションに分かれていて、最初のセクションはアプリケーション、次のセクションはファイル、最後のセクションはサーバーを表示します。項目をいくつ表示するか設定するには、コントロールパネルのアップルメニューオプションを使用してください。



(図13) 「最近使用した項目」サブメニュー

なお、「最近使用した項目」メニューを使用するには、コントロールパネルのアップルメニューオプションがオンになっていて、マシン起動時にロードされている必要があります。

「設定」メニューからはコントロールパネル、機能拡張、セクタなど、MacOS の主な機能に簡単にアクセスすることができます。また、ACTION GoMac のタスクバーにもアクセスが可能です。なお、コントロールキーを押しながらスタートメニューをクリックすると、「設定」サブメニューを直接開くことができます。



(図14) 「設定」サブメニュー

「検索」メニューではファイルの検索を行います。MacOS 8.5 を動作環境としている場合は、このメニューから Sherlock が起動します。その他の動作環境を使用している場合は、そのOS ごとのファイル検索プログラムが使用されます。

「システム終了」メニューはマッキントッシュのパワーキーを同等の働きをします。このメニューを選択すると、Mac を再起動するか終了するか、またはキャンセルするかというダイアログが表示されます。「システム終了」を選ぶと、システムが終了します。

## スタートメニューのショートカット

オプションキーを押しながらスタートボタンをクリックすると、Finder 上に「Start Menu Items」フォルダが開きます。

また、コントロールキーを押しながらスタートメニューをクリックすると、直接「設定」サブメニューにアクセスすることができます。

スタートメニューに項目を追加するには、Finder からスタートメニューへアイコンをドラッグ&ドロップします。

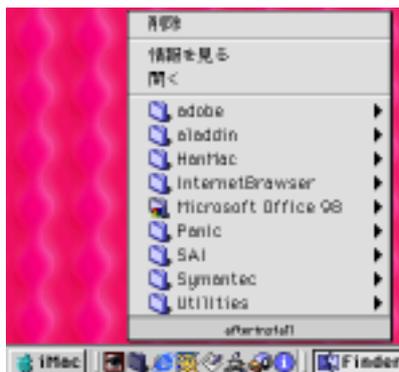
---

## クイックランチ

クイックランチはアプリケーションや書類をマウスクリックひとつで開いたり、ハードドライブ内のファイルやフォルダを使用することができる大変便利な機能です。ランチャーにアプリケーションを加えるには、タスクバーのタスクセグメント(クイックランチの右横)にあるプログラムボタ

ンをプレス（クリックしたまましばらく待つ）してください。表示されるメニューの中に「ランチャーに加える」という項目があります。この項目を選択すると、アプリケーションのアイコンがスタートメニューの右に現れます。また、より簡単な方法として、アプリケーションのアイコンをタスクバーの空白の部分にドラッグ&ドロップするという方法もあります。なお、アプリケーション、書類、フォルダ、Web ページブックマーク、アップルスクリプト、その他、Finder 内でアイコンとして表示される項目は全てクイックランチに加えることができます。

ランチャーに表示されたフォルダやエイリアスのアイコンをプレスすると、ポップアップメニューが表示されます。このポップアップにはフォルダの中の項目が全て表示されます。図 1 5 をご覧ください。これは、ランチャーに追加した「afterinstall」フォルダにより表示されたポップアップメニューです。



(図 1 5) クイックランチセグメントにあるフォルダのポップアップメニュー

なお、クイックランチもドラッグ&ドロップに対応しています。例えば、書類をクイックランチのアプリケーションアイコンにドロップすれば、その書類をアプリケーションで開くことができます。

## クイックランチのメニュー

クイックランチ内のアイコンをプレスすると、クイックランチメニューが開きます。ランチャーメニューには「開く」、「情報を見る」、「削除」の 3 つの項目があります。

### 「開く」

「開く」からはファイルやフォルダを開いたり、アプリケーションやアッ

ブルスクリプトを起動したり、Web ページにアクセスしたりすることができます。項目のアイコンをダブルクリックした時と同じアクションが行われます。

#### 「情報を見る」

項目の「情報を見る」ダイアログを開くことができます。これは、Finder から項目のアイコンを選択して、Finder の「情報を見る」コマンドを実行したのと同等の結果が得られます。

この「情報を見る」コマンドは、MacOS 8.5 ユーザーには特に便利です。MacOS 8.5 下では、「情報を見る」ウィンドウでファイル、フォルダ、アプリケーション等の共有やメモリの設定を行うことができます。

#### 「削除」

クイックランチから項目を削除したい場合はこのコマンドを使用してください。なお、これらの設定はMac がシステムを終了したときに保存されません。従って、Mac が強制終了された場合などには、最近の設定が消えてしまうことがあります。

---

## タスクバーのタスクセグメント

タスクバーのタスクセグメントには、起動している全てのプログラムがボタン形式で表示されます。このボタンをクリックするだけで、プログラムの切替を行うことができます。現在使用しているプログラムは反転表示され、太字で表示されます。

タスクセグメント上に表示されているプログラムの切替は、クリックで行うことができます。なお、Mac OS で常に起動しているFinder は常にタスクバーに表示されます。

また、タスクバーは、自動的に隠れるように設定することもできます。自動的に隠れるように設定した場合、モニタ下部にマウスを移動させると、タスクバーが表示されます。

注： タスクバーを自動的に隠れるように設定するには、ACTION GoMac コントロールパネルから「タスクバー」を選択します。「タスクバー」を選択すると設定ダイアログが表示されますので、「自動で隠す」を選択してください。

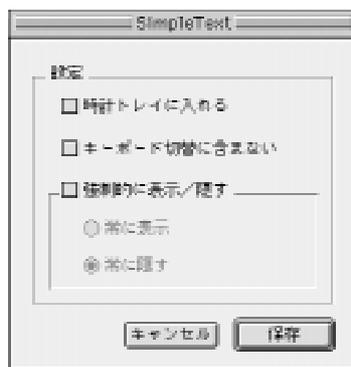
---

プログラムごとの設定を行うためには、タスクバー上に表示されているプログラムのボタンをプレスするか、コントロールボタンを押しながらクリックし、設定メニューを表示させます。この設定メニューでは、アプリケーションがアクティブな状態でない場合に、強制的に表示させたり隠したりするように設定したり、情報を見たり、プログラムを終了することができます。また、このメニューにはプログラムが使用しているメモリ容量も表示されますので、メモリ管理を容易に行うことができます。メモリ容量を変更するにはこのメニューから「情報を見る」を選択してください。なお、タスクセグメントの空白部分をコントロールキーを押しながらクリックすると、プログラムを表示させたり隠したりすることができます。



(図 1 6) タスクバー項目メニュー

タスクバー項目メニューの「設定」を選択すると、設定ウィンドウが表示されます。(図 1 7) このダイアログからは、プログラムを時計トレイ内に表示するように設定したり、切替後プログラムを隠すように設定したり、キーボード切替機能をオフにすることができます。



(図 1 7) アプリケーション別設定ウィンドウ

また、「Finder」のアプリケーション別設定ウィンドウは他のプログラムの設定ウィンドウと異なります。Finder のメニューでは、Finder で開いているフォルダやタブ付きのウィンドウにアクセスしたり、Finder を隠したり、他を隠したりすることができます。（図 1 8）



（図 1 8） Finder 設定メニュー

---

注： Finder 設定メニューの一番下にはプログラムが使用しているメモリ容量の代わりに空きメモリ容量が表示されます。プログラムを起動する前などに RAM の容量が知りたい場合は、この Finder の設定メニューをご覧ください。

---

ACTION GoMac を使用すれば、現在使用しているプログラム以外の全てのプログラムを隠すように設定することができます。これは、多数のプログラムを起動して、ウィンドウがいくつも開いている場合などにはとても便利な機能です。タスクバーの設定ウィンドウで、「切替後にプログラムを隠す」を選択してください。なお、ショートカットとして、オプションキーを押しながらプログラムを切り替えるとこの設定を逆にする（オンの場合はオフ、オフの場合はオン）にすることができます。

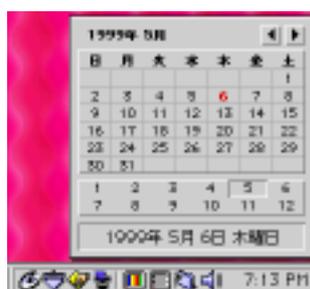
---

## 時計トレイとコントロールバー項目

時計トレイはタスクバーの右にあります。時計トレイには 3 つの項目が表示されます。まず、通常時計が表示されます。また、コントロールバー項目、および時計トレイに表示するように指定したアプリケーションアイコンが表示されます。

### 時計と万年カレンダー

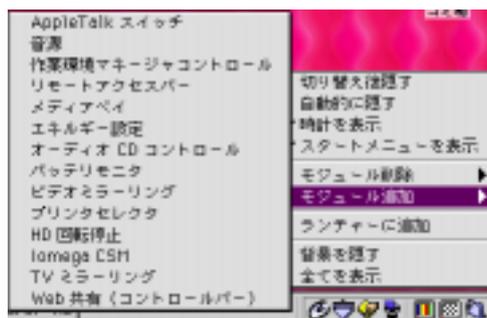
時計をクリックすると、カレンダーメニューが表示されます。今日の日付は赤で表示されます。他の月のカレンダーを開くためにはカレンダーの下にある1から12までの番号の上にマウスをのせてください。なお、別年度のカレンダーを表示するには、上部の矢印の上にカーソルを置いてください。



(図19) 万年カレンダー

## コントロールストリップモジュールについて

アプリケーションアイコンを時計トレイ内に表示させるためには、タスクバーをプレスするか、コントロールキーを押しながらクリックしてください。コンテキストメニューが表示されますので、ここから「モジュール追加」(または「モジュール削除」)を選択します。なお、モジュールを追加するショートカットとして、タスクバーにドラッグ&ドロップも行うことができます。



(図20) タスクバーのコンテキストメニュー

MacOS には Apple 社が開発したモジュールがいくつか付属されています。

すし、第三者が開発した高性能のモジュールもフリーウェア・シェアウェアとして手に入れることができます。モジュールにはカレンダー、インターネット設定メニュー、ゲーム等、様々な製品がありますが、中にはバグが多くシステムを不安定にしてしまう物もありますのでご注意ください。

時計トレイ内に表示されるよう設定されたプログラムは、タスクバー内のプログラムと同等の扱いが可能です。例えば、コントロールキーを押しながらアイコンをクリックしたり、アイコンをプレスすると設定を変更するメニューが表示されます。この時計トレイ内での表示機能は、常に起動しているアプリケーションがタスクバーで場所をとらないようにとの配慮から開発されました。従って、常にバックグラウンドで起動するアプリケーションやサーブプログラム、またFinderなどを時計トレイに入れてしまってもよいでしょう。

---

## キーボード切替

ACTION GoMac のキーボード切替を使えば、キーボードを使用してアプリケーションを立ち上げることができます。どのキーコンビネーションで切替を行うか設定するには、ACTION GoMac のコントロールパネルからタスクバーパネルを開いてください。タスクバーパネルで設定したキーコンビネーションをしばらくプレスし続けると、キーボード切替が立ち上がります。また、タスクバーパネルで設定したキーコンビネーションを押してプレスせずすぐ放すと、タスクバーにある次のプログラムに移動することができます。キーボード切替は一瞬しか表示されません。

---

注：プログラムが2つしか起動していないときには、キーボード切替はキーコンビネーションを一度押すだけで行うことができます。

---

また、キーボード切替が立ち上がっている状態でTab キーを押すと、つぎのプログラムに移動することができます。また、前のプログラムへ移動する場合には、シフトキーを押します。プログラムを選択している状態で、Q またはX を押すと終了することができます。また、W またはH を押すとプログラムを隠すことができます。別のプログラムを選択する必要がない場合には、Esc キーを押してください。

---

## ショートカット

### タスクバー

タスクバー上の任意の場所をコントロールキーを押しながらクリックすれば、コントロールバー項目の追加および削除を行うことができます。

Finder 内では、タスクバー上のアプリケーションに項目をドラッグ&ドロップすれば、その項目を開くことができます。

タスクバーの空白の部分に項目をドラッグすることにより、その項目をクイックランチに加えることができます。

タスクバーのプログラムをコントロールキーを押しながらクリックすれば、プログラムを表示したり隠したり、終了させたりすることができます。また、メモリの空き容量が表示されます。

MacOS 8.5 をご使用の方は、アプリケーションの「情報を見る」項目からメモリの設定を変更することができます。

プログラム間の切替の際にオプションキーを押すことにより、アプリケーションを表示する・隠す、という設定を一時的に逆にすることができます。

### キーボード切替

キーボード切替が立ち上がっている状態でTab キーを押すと、つぎのプログラムに移動することができます。

また、前のプログラムへ移動する場合には、シフトキーを押します。プログラムを選択している状態で、Q またはX を押すと終了することができます。

プログラムを選択している状態で、W または H を押すとプログラムを隠すことができます。

別のプログラムを選択する必要がある場合には、Esc キーを押してください。

## 第4章 ACTION GoMac の設定

---

### ACTION Utilitiesコントロールパネル

ACTION Files はACTION Utilities シリーズの一製品です。ACTION Utilities コントロールパネルは、これらのコンポーネントで共通にご使用いただけます。コンピューターに複数のACTION Utilities コンポーネントがインストールされている場合、それぞれのコンポーネントのアイコンがコントロールパネルの下部に表示されます。個々のユーティリティの設定を行うには、設定を行いたいユーティリティのアイコンをクリックしてください。1つのコンポーネントのみがインストールされている場合、アイコンをクリックする必要はありません。アイコンが表示されている部分の左右にある をクリックすると、画面をスクロールすることができます。

---

### ACTION GoMac 設定パネル

ACTION GoMac の多くの機能の設定は、ACTION Utilities コントロールパネルで行うことができます。コントロールパネルは、「製品紹介」「スタートメニュー」「タスクバー」3つのパネルから構成されています。「製品紹介」パネルには ACTION GoMac に関する情報が表示されています。「スタートメニュー」パネルでは、ACTION GoMac のスタートメニューやサブメニューの設定を行うことができます。「タスクバー」パネルでは項目を隠したり時計トレイの場所を設定するなどといったタスクバーの設定を行うことができます。

---

#### 「製品情報」パネル

「製品情報」パネルには、ACTION GoMac に関する情報が記載されています。ACTION GoMac などに関する情報を表示するにはダイアログ内の「製品情報」ボタンをクリックしてください。



(図 2 1) ACTION GoMac 製品情報パネル

## ACTION GoMac の起動・終了

ACTION GoMac を起動するには「On」を、終了させる場合には「Off」をクリックしてください。設定を変更した後、再起動をする必要はありません。なお、ACTION GoMac の起動・終了は機能拡張マネージャーを使用しても行うことができます。

## デモバージョンの登録

もしご使用中のACTION GoMac がデモバージョンの場合は、30日間の試用期間の後、継続してご使用になる場合は、製品のご登録をお願いします。製品を登録したりバージョンアップに伴って新しいシリアル番号を受け取った場合、ACTION GoMac を再インストールする必要はありません。「製品情報」パネルから「登録」ボタンを押し、表示された登録ダイアログに名前、所属組織、シリアル番号を記入してください。その後、コンピューターを再起動する必要はありません。

---

## 「タスクバー」パネル

「タスクバー」パネルからは、タスクバーの様々な設定を行うことができます。(図22) スタートメニューや時計を隠したり表示したりすることも可能です。また、これらの設定は、システムの再起動を必要としません。



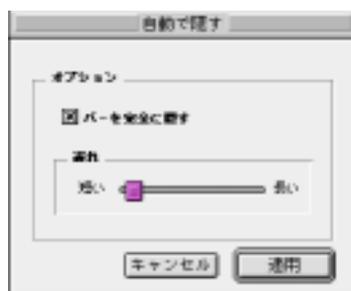
(図22) ACTION GoMac タスクバーの設定パネル

「タスクバー」パネルの下部からは、プログラムの切替後にプログラムを隠すよう設定することができます。また、キーボード切替を有効にして、任意のキーコンビネーションを設定しておけば、キーボード切替を立ち上げることもできます。

### 自動で隠す

タスクバーは、自動的に隠れるように設定することもできます。自動的に隠れるように設定した場合、モニタ下部にマウスを移動させると、タスクバーが表示されます。プログラムバーを自動的に隠すように設定するためには、ACTION GoMac のコントロールパネルから「自動で隠す」を選択してください。「自動で隠す」を設定すると、「オプション」ボタンで、自動的に隠したあとにマウスが移動してからタスクバーを表示するまでの

時間を設定するオプションが選択できるようになります。(図2.3)



(図2.3) 「自動的に隠す」オプションパネル

---

## 「スタートメニュー」パネル

「スタートメニュー」パネルには、3つの機能があります。まず、スタートボタンの名称を変更したり、アイコンをカスタマイズできます。また、「スタートメニュー」パネルにある特別項目を使えば、スタートメニューに特別なメニューを追加することができます。最後に、メニューのアイコンをどう表示するかを決定することができます。これでアイコンを表示しないように設定すれば、アイコンの表示に時間がかかる旧式のMacでのメニュー表示が大幅にスピードアップします。

「スタートメニュー項目の編集」ボタンをクリックすると、システムフォルダ内の「Start Menu Items」フォルダを開きます。「Start Menu Items」フォルダに入っている項目は、全てスタートメニューに表示されます。「Start Menu Items」フォルダは、「アップルメニュー項目」と同じような動きをします。「Start Menu Items」へ登録するには、登録したいファイルをスタートボタンにドラッグしてください。なお、ショートカットとして、オプションキーを押しながらスタートボタンをクリックすると「Start Menu Items」フォルダが開きます。



(図24) 「スタートメニュー」設定パネル

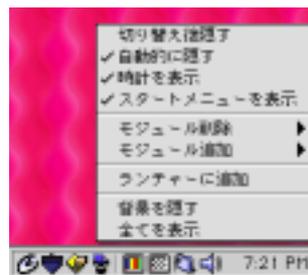
---

## タスクバーとコントロールバーの設定

ACTION GoMac の設定はコントロールパネル以外でも行うことができます。

タスクバー上に表示されている、作動しているプログラムの表示設定を行うためには、コントロールキーを押しながらプログラムボタンをクリックしてください。プログラムをタスクバーから強制的に隠したり表示したり、また時計トレイの横にアイコンとして表示させたりすることができます。また、キーボード切替を無効にすることも可能です。詳しくは第3章にあるACTION GoMac のタスクバーのセクションをご覧ください。

また、時計トレイをコントロールキーを押しながらクリックすると、コンテキストメニューが表示されます。(図25)



(図25) タスクバーコンテキストメニュー

コンテキストメニューではキーボード切替の後に項目を隠したり、タスクバーの表示方法を変えたり、スタートメニューや時計トレイを表示するかを決定ができます。

## 第5章 トラブルシューティング

---

### テクニカルサポートについて

株式会社アクト・ツーでは、ユーザーの皆様に誠意を込めたサポートを心掛けております。弊社ユーザーサポートへご連絡くださる前に、本ユーザーズガイドをお読みください。

#### サポート窓口

弊社では、電話・電子メール・FAXの他に、ホームページにて「Q&A」コーナーまたはFAQも設けておりますのでご利用ください。

#### 株式会社アクト・ツー サポートセンター

〒168-0063東京都杉並区和泉1-1-14鈴木ビル3F

URL <http://www.act2.co.jp>

e-mail [support@act2.co.jp](mailto:support@act2.co.jp)

FAX 03-3328-8454

TEL 03-3328-8431 祝祭日を除く月曜日から金曜日の  
10:00 ~ 12:00 および 13:00 ~ 16:00

お電話の際、スムーズに対応させていただくために、下記の情報をお手元にご用意ください。

1. ユーザー登録カードに記載されているシリアル番号
2. 問題点の詳しい状況。どのような操作をした場合に問題が起きたのか、また最近インストールしたソフトウェア等の情報
3. 使用している Macintosh に関する情報
  - A. Macintosh のモデル
  - B. システムソフトウェア (OS) のバージョン
  - C. メモリ合計と最大未使用ブロック

重要ご登録方法につきましては、同梱されているユーザー登録カードをご覧ください。ユーザー登録は、ユーザーサポート、テクニカルサポート、アップグレードサービスなどを受ける場合に必要となりますので、早めのご登録をお勧めいたします。

---

## トラブルシューティング

もしマッキントッシュに「マーフィーの法則」があるとすれば、それにはきっと「システムの安定性は、そのシステムにロードされているコントロールパネルと機能拡張の数に反比例する」というものがあるでしょう。ACTION GoMac のトラブルシューティングを行うときは、まずは機能拡張マネージャーで他の機能拡張を外し、OS基本の機能拡張とACTION GoMac の機能拡張だけでシステムを再起動してください。それにより問題の原因がACTION GoMacであるかが明確になります。下記のQ&Aをお読みいただいた上でも問題が解決できない場合は、弊社のテクニカルサポートまでご連絡ください。

Q: ACTION GoMac をインストールしてシステムを再起動したのに、なにも起こりません。

A: ACTION GoMac はMacOS 7.6.1 以降を必要とします。ACTION GoMac のインストーラは、それ以前のシステムでは作動しないように設定されています。

Q: スタートメニューに「プログラム」と「書類」が表示されません。

A: まず、コントロールパネルフォルダの中に一般設定のコントロールパネルが入っていることを確認してください。一般設定のパネルがないと、ACTION GoMac がフォルダやファイルを見つけられないことがあります。

次に、「アプリケーション」フォルダや「書類」フォルダがルートレベルにあるか確認してください。ACTION GoMac はシステム起動時にルートレベルにある「アプリケーション」と「書類」という名称のフォルダを探します。エイリアスでも使用できます。

Q: ACTION GoMac は2000年問題に対応していますか。

A: 対応しています。ACTION GoMac の万年カレンダーは2038年まで表示するようになっていきますし、アップル社のY2K問題対応ガイドラインにも従っています。

Q: PowerPoint やKai社のSoapなど、フルスクリーンモードで作動する

プログラムを起動すると、ACTION GoMac が正常に作動しません。

A: 問題を回避する一番の方法は、ACTION GoMac コントロールパネルの「タスクバー」パネルで「自動で隠す」機能をオンにし、さらにオプションで「バーを完全に隠す」設定にしておくことです。コントロールパネルを開くにはこのユーザーガイドの「ACTION GoMac の設定」の章をご覧ください。

Q: コントロールストリップモジュールの順番を変えたり項目を削除するにはどうすればいいのでしょうか？

A: モジュールの順番を変更するには、一度モジュールを削除してから並べたい順番でインストールし直す必要があります。コントロールストリップモジュールを削除するには、コントロールキーを押しながら時計トレイをクリックして、表示されたメニューより「モジュールの削除」を実行してください。また、モジュールの削除はタスクバーのコンテキストメニューからも行えます。その場合は、コントロールキーを押しながらタスクバーの空白の部分をクリックするか、タスクバーの空白の部分をクリックして、現れるメニューから「モジュールの削除」を行ってください。

Q: ACTION GoMac の外見が正しく表示されません。機能的には正常に作動しますが、タスクバーの色がデフォルトの灰色ではなく黒になってしまい、またフォントは濃いブルーで表示されてしまいます。アイコンは正常に表示されます。

A: これは、Spell Catcher とKaleidoscope の設定ファイルの類似性によって発生します。通常、ACTION GoMac は起動時にまずKaleidoscope の設定ファイルを検索し、見つからない場合はデフォルトの灰色のタスクバーを表示します。ACTION GoMac はSpell Catcher をこのKaleidoscope の設定ファイルと間違えてしまいます。従ってこの問題は、Spell Catcher のファイルの前に「！」をつけ、Spell Catcher がシステム起動時にすぐロードするようにすれば解決します。

Q: Microsoft Office 98 がインストールされているのに、ACTION GoMac のスタートメニューに Office 98 が表示されません。

A: Office 98 フォルダが正しい位置にインストールされていないことが

まず考えられます。ACTION GoMac がOffice 98 を認識するためには、Office 98 が Office フォルダ内のMicrosoft Office 98 ファイルにインストールされている必要があります。Office が定位置にあるかを確認してください。なお、Office 98 のフォルダがそこがない場合、考えられるインストール先としてシステムフォルダの中があげられます。この場合にOffice のアンインストール用のユーティリティを使用すると、システムフォルダ全体が消えてしまいますのでくれぐれも注意してください。

Office 98 のフォルダが正しい位置にインストールされていることを確認したら、デスクトップの再構築を行ってください。システムを起動して、Finder が立ち上がったら、コントロールキーとオプションキーをプレスし続けてください。Office 98 の読み込みも正常に行われるはずです。

- Q: スタートメニューのメニューが表示されるまでに時間がかかります。
- A: メニューの中の小さなアイコンを表示するのに時間がかかっているのかもしれませんが。ACTION GoMac コントロールパネルを開いて、「メニューにアイコンを表示する」というオプションをオフにしてください。
- Q: インターナショナルシステム (OS 8.X フランス語、スウェーデン語、ドイツ語、イタリア語など) で、スタートメニューの選択ができません。スタートボタンをしばらく押しているとメニューは表示されますが、カーソルを移動しても項目が反転表示されませんし、項目の選択もできません。
- A: ACTION GoMac が正常に作動するためには、システム起動時に Options Menu Pomme がACTION GoMac よりも先にロードする必要があります。Options Menu Pomme を !Options Menu Pomme とするか、ACTION GoMac を ACTION GoMac として、名称の変更を行えば問題は解決するはずです。
- Q: ACTION GoMac をインストールすると、「このプログラムを起動するには640x480 以上のモニターが必要です」という警告をするアプリケーションがあります。モニターは実際にはそのサイズを満たして

います。どうすればいいのでしょうか？

A: この現象はゲーム関連のアプリケーションによく見られます。これはアプリケーションが正確なモニターサイズを確認しない場合に起こり、ACTION GoMac のタスクバーを「自動的に隠す」ように設定しておくことで回避されます。なお、「自動的に隠す」ためのショートカットはコントロールキーを押しながらタスクバーをクリックすることです。

Q: Mac 起動時にACTION GoMac のアイコンが2つ表示されます。2つ目のアイコンはどうすればなくなるの？

A: まず、マシンの中にACTION GoMac が2つインストールされている場合が考えられます。その場合は、どちらか1つ（古いバージョンが望ましい）をアンインストールしてください。

それから、他の機能拡張が間違っていてACTION GoMac のアイコンを読み込んでしまっている場合もあります。この場合には実害はまったくありませんから放っておいても結構ですが、解決策としてはACTION GoMac を zACTION GoMac などに名称変更して、機能拡張が最後にロードされるようにすればよいでしょう。

Q: ACTION GoMac をインストールしてマシンを再起動するとフリーズしてしまいます。ACTION GoMac を外すと正常に起動します。

A: ごくまれにACTION GoMac 初期設定ファイルが壊れている場合があります。ACTION GoMac のシリアル番号を控えた上で初期設定ファイルを「初期設定」フォルダから削除してください。それでも正常に再起動しない場合は弊社のテクニカルサポートまでご連絡ください。

Q: コントロールバーを加えたりシリアル番号を入力して登録を行っても、マシンが再起動した後は変更が保存されていません。

A: デスクトップの再構築を行ってください。それでも問題が解決しないようでしたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

Q: Windows 98 のように、タスクバーをデスクトップの左右に表示することはできますか？

A: 開発はしていますが、まだ実現されていません。

Q: なぜ、Windows のタスクバーのように、デスクトップ上で開いているウィンドウや書類がボタンとしてACTION GoMac のタスクバーにも表示されないのですか？

A: ACTION GoMac のタスクバーの外見は、Windows のタスクバーと多少異なります。ACTION GoMac ではタスクバーに作動しているアプリケーションを表示し、ウィンドウはポップアップメニューに表示されています。バージョンアップに伴いWindow 形式のGoMac も発売されるかもしれません。

Q: スタートメニューのショートカットはありますか？

A: 作動しているアプリケーションの間ではキーボード切替が行えますが、スタートメニュー用のショートカットキーは今のところありません。

